

株式会社 山田事務所

山口県初インバウンド需要も見込める 知育と健康がテーマの遊び場事業

県内最大規模の複合レジャー施設「くだまつ健康パーク」を経営する同社。令和元（2019）年12月、乳幼児の家族連れをメインターゲットとしたオールシーズン＆全天候型の屋内遊び場「キッズパークCotton」を開設し、新規顧客の獲得を目指す体制を整えた。

取組の背景 新規顧客獲得のために新たなサービスを開発

30年以上にわたり親しまれている「くだまつ健康パーク」。温泉や岩盤浴などのリフレッシュメニューを中心に、夏はプール、冬はスケートといったスポーツ施設を完備し、3世代で利用してもらえる強みがある一方で、主要客層の高齢化という課題も抱えていた。少子高齢化を背景に、祖父母が孫のために出費

する金額は増しているものの、県内に3世代で楽しめる屋内有料遊び場はほとんどない。そこで、顧客層の若返り戦略として、これまでターゲットにできていなかった乳幼児をもつ家族向けの革新的サービスを開発。話題性のある最先端遊具を導入し、新たな顧客層の開拓を目指した。

顧客層の若返りを図る
革新的サービスを提供



取組内容 子育て世代をメインターゲットに最先端の遊具を導入

都市圏での市場調査をもとに、顧客が高い関心をもつ「知育と健康」のテーマに沿った遊具、遊びながら子どもの興味や身体能力の開発ができる遊具を選定。限られたスペース内で、体を大きく使う遊びや手先を器用に使う遊びを実現する最先端の遊具を、補助金を活用して導入した。

1 小人が住まう黒板 (株式会社チームLABO)

タッチパネルで子どもの想像力や好奇心を掻き立てるクリエイティブ性の高い共創の場を提供。



2 エアトラック (株式会社ポーネルド)

マットの上で跳んだり走ったり、ダイナミックに体を動かすことで体幹や足腰を鍛えられる。

3 木製遊具 (百合建設工業株式会社)

木とふれあい、木に学び、木と生きる。木のぬくもりで豊かな心を育む「木育」を実践。



4 安全対策壁床クッション (有限会社萬星ホロ)

5 ブロックモジュール (株式会社ポーネルド)

6 クアドロ (株式会社ポーネルド) 7 aibo (ソニーマーケティング株式会社) 8 ドリームログ (株式会社アネビー)

取組成果 新規顧客の獲得に成功！既存施設とのシナジー効果も創出

プレオープンに際して、インターネットで募集をかけたところ、親子20組の枠に県内外から400組の応募があり、想像以上の反響があった。そして、オープン後2カ月間は予約客で埋まる状況に。令和3（2021）年3月末には、累計来場者数22,219人、総会員数4,360組、1カ月あたり1,800人の新規顧客を獲得で

きている。さらに、プールや温泉との併用など、シナジー効果も生み出している。滞在時間が長くなったことで、遠方からの利用者も増えた。また、インパクトのある最先端の遊具を導入することで、広告宣伝費をかけずとも顧客自らがSNSで情報発信をしてくれるようになり、心理的な距離感も近くなった。

今後の展望 顧客層のさらなる拡大を目指して

今回、最先端の遊具を導入してハード面を充実させたが、今後は地域の講師と連携したイベントなどのソフト面を充実させることで、リピーターの定着につなげていくことを目指している。当初予定していたインバウンド需要はコロナで途絶えたが、幼稚園や保育園向けの団体プランの案内を強化していく。コロナ禍の影響で、23

年間続けてきた大衆演劇という人気コンテンツを令和2（2020）年11月に終了した。今後は、顧客層の若返りを図るため、「キッズパークCotton」のメインターゲットである20～30代と、既存客の50代以上の間を補完する、30～40代向けの新サービスを展開することで、顧客層をさらに拡大していく。



取締役 山田 将太郎

ADVICE

サービス業においても活用可能。
まずは認定支援機関に相談を！

ものづくり補助金と聞くと、製造業で活用されているイメージが強いのですが、サービス業においても活用できるケースがあります。まずは、業種のイメージに縛られずに、公募要領を確認してはいかがでしょうか。もちろん先進性のある取組でなければ対象になりませんが、補助金が活用できれば、思い切った決断をすることができます。ぜひ銀行などの認定支援機関を頼って、経験値に沿ったアドバイスをもらうことをおすすめします。採択されれば中央会が親身になってサポートして下さるので安心です。

株式会社 山田事務所

〒744-0021 山口県下松市大字平田460

TEL 0833-43-2311 / FAX 0833-43-2313

https://www.k-park.co.jp

業種 レジャー事業

資本金 1,000万円

従業員数 20名 (令和3年12月)

大正10 (1921) 年創業

代表取締役 山田 正敏



健康がテーマのレジャー施設を近距離で4つ運営（くだまつ健康パーク・くだまつスポーツセンター・スポーツプラザ・くだまつパブリックゴルフ）。老若男女問わず幅広い客層から支持されている。各施設の2017年度の年間来場者数合計は、350,726人を記録。35万人を超える来場者数は山口県の人口のおよそ25%に相当する。